

まるりん通信



公益財団法人屋久島環境文化財団 Tel.0997-42-2911 FAX0997-49-1018

平成28年度自然・文化体験セミナー

『秋風を感じるエコツアー』参加者募集！

～涼しい秋風の中、里の魅力を感じながらサイクリングしませんか？～

- 日時：11月5日（土）9：00～16：00
対象：小学4年生以上 ※小学生は保護者同伴、保護者1名に対して小学生2名まで
参加費：1,500円（小学生以下750円）
定員：15名（先着順） ※最少催行人数3名、締切10月28日（金）
内容：自転車に乗りながらの自然観察 ※貸出用の自転車あります（無料）
昼食はアウトドアクッキングを予定



※詳しくは財団ホームページをご覧ください。
お問い合わせ・お申込み
研修センター TEL 46-2900
担当：小西

インストラクター募集のご案内

屋久島環境文化研修センターでは、平成29年度採用のインストラクター（環境学習研修指導員）を募集します。

募集期間：平成28年9月22日（木）～平成28年10月31日（月）

詳しくは、財団ホームページをご覧ください。

★お問い合わせ先 村センター総務企画課 Tel 42-2900



平成28年度幼児環境教育推進事業

「屋久島こども森のあそび場」全5回参加者募集

平成27年度に実施し、大好評をいただいたイベントが今年も始まります！
今年度は11～3月の全5回の開催予定です。まずは、第1回目のご案内です。

開催日：第1回《秋の森 de おさんぽの会》
11月12日（土）より活動開始！
場所：研修センター7000年の森
対象：2歳以上の未就学児～小学2年生までと
その保護者

定員：先着15組
※参加者決定は先着順
参加費：子ども50円 大人50円
締切：11月5日（土）

※詳しくは財団ホームページをご覧ください。
お問い合わせ・お申込み
研修センター TEL 46-2900
担当：福元（やっくん）



休館日のお知らせ

村センター 10月は全日開館しています。11/15（火）

研修センター 10/3（月）、10/17（月）、10/31（月）、11/7（月）、11/21（月）、11/28（月）



インストラクターだより

日本の自然とシーボルト

インストラクター 小西 祐伸

シーボルト (Siebold) と言えば、江戸時代に日本にやってきた医者として有名ですが、生物 (博物) 学者としても有名です。普通に自然を見ていると、彼の功績に気がつきにくいですが、学名を見るとそこにシーボルトの名前が残っている種類がちらほら見られます。

学名とはラテン語で書かれ、その種類のグループを表す属名と、属名と組み合わせることにより他の種類と一致することが無い唯一の名前となる種小名からなる全世界で通用する生物の名前です。例えば屋久島でも見られる大型のトンボ、オニヤンマの学名は *Anotogastersieboldii* (アノトガステル シエボルディ) で、種小名の *sieboldii* はシーボルトにちなみます。植物ではツガ (屋久島が南限) の学名が *Tsugasieboldii*、ほかには和名にも名前が入るシーボルトミミズは学名が *Pheretimasieboldi* と枚挙に暇がありません。

そして今月 18 日はシーボルトの命日で没後 150 周年にあたります。なかなか馴染みのない学名ですが、これを機に身の回りの生き物や草木にシーボルト (Siebold) の名前が隠れていないか調べてみると面白いかもしれません。

実はガラパゴスより固有種が多い日本の自然、日本人には見慣れた自然でもシーボルトにとっては驚きと発見の連続であったと想像に難くありません。ですから、今、日本を訪れる外国の方々にも、日本の自然は見たことがない生き物であふれ、そんな日本の自然をぎゅっと詰め込んだ屋久島はさぞ魅力的にうつるでしょう。シーボルトにも見てもらいたかったですね。



ツガ (*Tsugasieboldii*)

参考文献：茂木透ほか(2001)『樹に咲く花』(合弁花・単子葉・裸子植物) 山と溪谷社

財団活動報告

◇株式会社伊藤園様 環境ボランティア活動

9月10日～11日、株式会社伊藤園の社員の皆様が、屋久島に来島され、財団ボランティアと合同で白谷雲水峡の木道の手すりのコケ落とし作業や、春田浜の清掃活動のボランティア活動を行いました。

株式会社伊藤園では、全国で「お茶で日本を美しく」キャンペーンを展開しています。鹿児島では、「お〜いお茶」全飲料商品の売上げの一部を当財団へ寄付していただき、「世界自然遺産屋久島の環境保全活動」に利用させていただいています。



◇屋久島満喫アクティブツアー (9/23~9/25)

前岳トレッキングや手作りいかだによる川下り体験、アウトドアボルダリングなどを行い、屋久島の自然を全身で体感してもらいました。参加者からは「たくさんはしゃいで、楽しかったです！」などの感想をいただきました。



屋久島を思う 114 山口 双葉

環境文化村センターに来て半年が過ぎようとしています。私は口永良部島の出身で、高校卒業を機に屋久島町に帰って来ました。

屋久島と言えば、山、川、海などの自然が豊かで多くの観光客が訪れます。私は、自然はもちろん島の方々の温かさや屋久島の魅力だと思っています。幼い頃から、口永良部の方々に支えていただき、この半年間は屋久島の方々にもたくさんの温かさをいただきながら生活してきました。島に住んでいると当たり前のように感じてしまいがちですが、とてもありがたく、自分自身が恵まれた環境にいるのだと改めて感じています。

この素晴らしい環境への感謝の気持ちを忘れず、人と人とのつながりを大切に日々の生活を送っていきたくと思います。